

日本応用数理学会環瀬戸内応用数理研究部会 第25回シンポジウム

環瀬戸内応用数理研究部会では、応用数理関連分野に関わる年1回のシンポジウム開催と、関連する研究論文集の発行を主たる活動としております。本年は、岡山理科大学岡山キャンパス（岡山県岡山市）の会場とZoomでのオンライン配信を併用する形でシンポジウムを開催いたします。多くの皆様のご参加・ご講演をお待ち申し上げます。

日時： 2021年12月25日（土）-26日（日）

場所： 岡山理科大学 C3号館 8階応用数学科共同ゼミ室 & Zoom によるオンライン配信

URL： <https://sites.google.com/view/kanseto-jsiam-2021/>

プログラム

12月25日

13:30~14:00 榊原 航也（岡山理科大学・理化学研究所）、奈良 光紀（岩手大学）、俣野 博（明治大学）、森 洋一朗（ペンシルベニア大学）

バイドメインモデルにおけるフロント解・パルス解の漸近挙動の数値解析

14:10~14:40 畑上 到（東京都市大学）

陰的解法の数値解の構造に対する時間刻みとランダムネスの影響

（休憩 20分）

15:00~15:30 陳 鈺涵（神戸大学）、松原 崇（大阪大学）、谷口 隆晴（神戸大学）
シンプレクティック形式の学習による一般座標系での深層物理モデル

15:40~16:10 小川 乃愛（神戸大学）、谷口 隆晴（神戸大学）
ハミルトニアンニューラルネットワークの安定性について

16:20~16:50 土屋 卓也（愛媛大学）
領域の変動に関する Liouville の公式について

12月26日

9:30~10:00 岡田 敏宏（岡山理科大学）
SEIR タイプ COVID-19 感染症モデルについて

10:10~10:40 搦本 有望（神戸大学）、谷口 隆晴（神戸大学）
非平衡熱力学による摩擦付き質点バネ系に対する数値解法とその刻み幅条件

（休憩 20分）

11:00~11:30 井上 啓（山陽小野田市立山口東京理科大学）
拡張型カオス尺度の改良形式と2次元カオス写像への適用

11:40~12:10 大江 貴司（岡山理科大学）
非整数階拡散方程式に対する時間依存基本解を用いた代用電荷法の適用